

| | | | | | | |
|--------|--|----|------|-------------------------------------|------|-------|
| 授業科目 | 暮らしを支える | 講師 | 氏名 | ①藤本祥子 ②石出昌子 ③山本裕子 | 開講年次 | 単位・時間 |
| | | | 所属 | ①専任教員 ②地域包括支援センター ③保健所 | | |
| | | | 実務経験 | ①臨床看護師 ②主任介護支援専門員 看護師 ③保健師 | | |
| 科目のねらい | 在宅看護における看護の展開は、在宅医療の対象である療養者、家族の生活、様々な価値観を尊重した長期的な視点での看護実践である。対象が疾患や障害によって変化してきた生活を考え、在宅医療チームの看護専門職として、療養者の疾患、病期そして療養者の強み、家族の介護力をアセスメントし、多職種と連携し多角的に対象の生活上のニーズを捉え、社会資源を活用した対象のQOL維持向上について理解を深める。 | | | | | |

到達目標

| | |
|----------|--|
| 知識・技術 | <ol style="list-style-type: none"> 常に療養者と家族の生活、様々な価値観を尊重した長期的な視点を持って検討できる。 療養者の疾患、病期、能力、家族介護力について説明できる。 家庭訪問を通して地域の方と関わり、コミュニケーションを取りながらその方が暮らしてきた時代、背景について知り関わりの中でその方が現在抱える生活上の問題点について考え発表できる。 地域の保険医療活動における行政の役割を知り地域特性を活かした社会資源活用の提案ができる。 |
| 思考・判断・表現 | <ol style="list-style-type: none"> 地域で暮らす高齢者の生活を知り、全体像から家族アセスメントを行い療養生活を継続するための支援が提案できる。 地域で暮らす療養者、家族との関わりをエコマップ、円環パターンを使って解釈し療養者の強みを活かした支援を発表を通して提案できる。 療養者、家族が在宅での生活を望む理由を列挙し理由を検討することができる。 |
| 主体的学習態度 | <ol style="list-style-type: none"> グループワークで、自分の意見を積極的に述べ、ディスカッションすることができる。 地域活動、高齢者の家庭訪問で対象に適した相手を尊重した態度で関わることができる 教科書及び講義で学んだ知識をベースに他の文献も活用して基礎的知識、講義での知識を活用し自己学習することができる。 |
| 科目評価 | 小テスト (50% : 10点×5回) ループリク評価によるレポート評価 (10%×2) リアクションシートによる評価 (20%) 出席・態度 (10%) 合計100% |
| テキスト | ナーシング・グラフィカ 在宅看護論①地域療養を支えるケア (メディカ出版) ナーシング・グラフィカ 在宅看護論②在宅療養を支える技術 (メディカ出版) |
| 参考文献 | 系統別看護学講座 在宅看護論 (医学書院) |

| 回数 | 教育内容 | 教育方法 | | | 講師 | 関連科目 | 留意事項 | |
|----|--|------|----|-----|------|------------------------------|---|--|
| | | 講義 | 演習 | その他 | | | | |
| 1 | 暮らしを支える オリエンテーション 家庭訪問についてのオリエンテーション | ○ | ○ | | 藤本祥子 | 全ての専門看護学 | 地域で暮らす高齢者の理解に繋がる観察について事前に学習しておく | |
| 2 | 家庭訪問：地域の一人暮らしの自宅へ訪問 | | | ○ | | | | 地域の高齢者（一人暮らし）の家庭訪問を行う 1グループ：2～3人 |
| 3 | | ○ | | ○ | | | | 地域で暮らす療養者、家族との関わりをエコマップ、円環パターンを使って示し、家族アセスメントを行い看護展開し看護計画を立案し発表する。 |
| 4 | 発表 | ○ | ○ | | | | | 2年次の事例検討：脊髄損傷患者（成人期男性）の資料を持参し療養者が抱える問題、家族状況を基に社会資源を考え、看護介入検討 |
| 5 | | ○ | ○ | | | | | 福津市での社会資源の活用について検討 |
| 6 | 事例検討 療養者価値観、障害者総合支援法 脊髄損傷があり在宅で暮らす療養者 | ○ | ○ | | | | | 地域包括支援センターの役割、事例を通して社会資源について検討する |
| 7 | | ○ | ○ | | | | | 地域活動演習：模擬ケア会議 地域活動演習：模擬ケア会議 |
| 8 | 介入の検討：地域における社会資源の活用 | ○ | ○ | | | | | 宗像・遠賀社会保健福祉環境事務所 |
| 9 | 地域共生社会：福津市の地域特性を活かした 地域包括支援センターの役割 | ○ | | | | | 石出昌子 | |
| 10 | | ○ | | | | | | |
| 11 | 地域包括ケアシステム：模擬ケア会議 | | ○ | | | | 山本裕子 | |
| 12 | | | ○ | | | | | |
| 13 | 行政の役割：地域連携、保健所の役割 | ○ | | | | | | |
| 14 | 事例検討 脳性麻痺の児と生活する家族アセスメント、 社会資源 | | ○ | | | | 対象が、小児であることを考え、発達段階に応じたアセスメント、社会資源を検討する | |
| 15 | | ○ | ○ | | | | | |
| 16 | 社会資源について：発表 | ○ | ○ | | | | | |
| 17 | 事例検討 心疾患を持って暮らす高齢者の家族アセスメント、 緊急時の対応について（心不全） | ○ | ○ | | 藤本祥子 | | 緊急時の対応について、自治体での違いも検討する。 | |
| 18 | | ○ | ○ | | | | | |
| 19 | 事例検討 難病を抱えて暮らす療養者の価値観、社会資源、 家族アセスメント、緊急時、災害時の対応について（ALS） | ○ | ○ | | | | | |
| 20 | | ○ | ○ | | | | | |
| 21 | 発表 | ○ | ○ | | | 事例検討の介入計画を発表 ALS、心不全、脳性麻痺 | | |
| 22 | 発表 | ○ | ○ | | | | | |
| 23 | 発表/まとめ | ○ | ○ | | | | | |
| 備考 | 臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ、臨床に則した授業・演習を行います。 | | | | | | | |